

KERAFFECT®

KERAFFECT CONNECTOR TRIALSET

ケラフェクト コネクタートライアルセット

KERATEINE SPW × ファイバーハンス × マレイン酸ポリマー
原料濃度 MIX 処方のハイブリッド活性ケラチンコンク

コネクター原液とベースフォーム 10 倍希釈のトライアルセット



※KERATEINE®とは？

KERAFFECT 独自開発原料で唯一の活性ペプチド / ケラチン

低分子から高分子の幅広い分子量と

毛髪結合性、毛髪親和性が高くダメージ補修力が高い



KERAFFECT CONNECTOR TRIALSET

ケラフェクト コネクター トライアルセット

原液 50g/10 倍希釈フォーム 50ml

KERAFFECTオリジナルの「活性ケラチン」

一般的なケラチンと、『KERAFFECT』の根幹を成す「活性ケラチン」の違いとは何か？ それは、活性ケラチンが人間の毛髪を形成するタンパク質（ケラチン）と極めて近い点にある（図1）。ヒトの毛髪を構成する18種のアミノ酸と活性ケラチンのそれとを比較すると、それぞれの含有率が非常に近く、全体的にほぼ同様のバランス

で構成されていることが分かる。つまり活性ケラチンは、ヒトの毛髪ケラチンと限りなく近い成分だと言えるのだ。

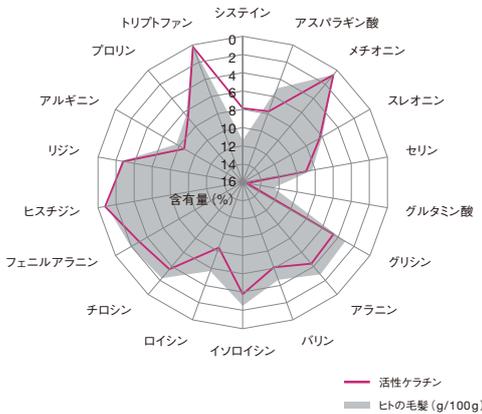
また『KERAFFECT』が採用している活性ケラチンは、S-S結合（シスチン結合=システインが2つ結合している形）を保持しており、毛髪の構成成分としっかりつながり、ダメージ毛に対して高い補修効果を

発揮する（図2）。さらに低分子活性ケラチンを配合した「コネクター」を使用した毛髪と、使用していない毛髪とでは、その強度に明らかな違いが生じることも立証されている（図3）。

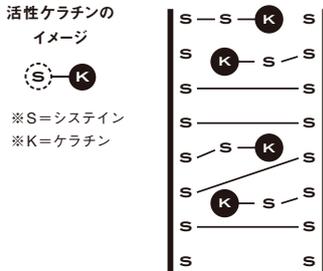
こうした結果は全て、髪に限りなく近いケラチン=活性ケラチンの賜物。なお『KERAFFECT』シリーズとして最初に

発表された「コネクター」は、低分子化された活性ケラチンをベースとしているため、髪を内側から強化。さらに現在、『KERAFFECT』シリーズには低分子活性ケラチンだけでなく、中分子、高分子活性ケラチンを主軸とした処理剤や、それらの浸透・定着を促す製品も次々とリリースされ、髪の総合的なケアを可能にしている。

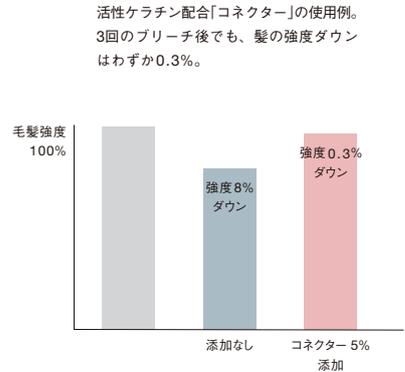
（図1）毛髪ケラチンと活性ケラチンのアミノ酸組成比較



（図2）毛髪内部の結合イメージ



（図3）KERAFFECT コネクター使用・毛髪試験データ



毛髪引張強度の計測データ
(ブリーチ剤の総量にコネクターを5%添加し、3回ブリーチ施術後の強度)

HOW TO

トライアルセットおすすめの使い方

コネクター原液

- ▶ カラー / ブリーチ 1 剤 2 剤、総量の 5% MIX
毛髪へ類似したアミノ酸組成のオリジナルケラチンがダメージによる強度ダウンを防ぎます

コネクター 10 倍希釈

- ▶ カラー / ブリーチの前処理として
プレッシュ後、フォームで全体に塗布、コーミング（塗布量 1 人 10ml 程度）
- ▶ クイックトリートメントとして（ハイダメージの場合は原液推奨）
シャンプー後、全体に塗布→コーミングして軋みが出てきたら流し→トリートメント→流し→ドライ